外部被ばくの低減三原則 線量低減 ①離れる (距離) ②間に重い物を置く ③近くにいる (遮へい) 時間を短く (時間) * 離れると (毎時マイクロシーベルト) 毎時マイクロシーベルト)線量率 厚くすると (マイクロシーベルト)線量 短くすると 減る 2.0 放射性物質からの距離(m) コンクリートの厚さ(cm) 作業時間(h)

外部被ばくの線量を少なくするためには、3つの方法があります。

1つ目は離れるという方法です。放射性物質で汚染した土を取り除いて、生活の場から離す、という方法がこれに当たります。

2つ目は遮へいです。屋内にいるということや、放射性物質で汚染した土とその下の汚染していない土を入替え、汚染していない土を遮へい材として用いることもこの方法に当てはまります。

3つ目は、空間線量率が高い所にいる時間を短くするという方法です。

(関連ページ: ト巻 P50 「外部被ばく線量の特徴!)

本資料への収録日:2013年3月31日

改訂日:2019年3月31日